

平成21年度 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 業務実績報告書（案）

平成 年 月



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

法人の概要

(例)

1 現況

(1) 法人名

(2) 所在地

(3) 設立年月日

(4) 設立目的

(5) 沿革

(6) 事業内容

※ 病院部門: 主な役割及び機能、診療規模(病床数)、診療科目、救急体制
※ 研究部門: 主な役割及び機能、研究体制(研究チーム)
※ 施設概要(敷地面積、建物規模)

(7) 役員の状況

※ 理事長、理事、監事名を記載する。(非常勤を含む)

(8) 職員の状況(概要)

※ 平成22年3月31日現在における職種別職員数

(9) 組織(概要)

(10) 資本金の状況

等

(例)

2 基本的な目標

(1) 基本理念

(2) 運営方針

法人全体、各部門等

(3) 第1期中期目標期間の取組目標、重点課題等

(例)

1 法人の総括と課題

年度計画の項目別実績を踏まえ、事業年度における業務全体の実施状況(組織体制や運営面を含む。)及び課題を総括的に記載すること。また中期計画の全体的な進行状況についても記載すること。

(例)

2 事業の進捗状況及び特記事項

下記の内容について、事業年度における業務の実施状況及び課題を記載するとともに、中期計画の進行状況についても記載すること。

- (1) 高齢者の特性に配慮した医療の提供
- (2) 高齢者医療・介護を支える研究の推進
- (3) 高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成及び確保
- (4) 効率的・効果的な業務運営
- (5) 収入の確保・費用の節減
- (6) 財務内容の改善
- (7) 新施設の整備に向けた取組
- (8) その他(年度計画に記載されている事項以外で特記すべき自主的な取組みがある場合)

業務実績評価及び自己評価

中期計画に係る該当事項	<p>1 都民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>(1) 高齢者の特性に配慮した医療の確立と提供</p> <p>センターは、高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療及び研究の拠点としての役割を果たすため、これまで培ってきた豊富な臨床経験やノウハウを活かして高齢者の特性に配慮した医療の確立を目指すとともに、その成果及び知見を高齢者医療のモデルとして広く社会に発信していくことを目的に設立された。 その目的を実現し、センターの機能を十分に発揮するために、特に重点的に取り組む医療分野を定め、あわせて高齢者急性期医療の提供、地域連携の推進及び救急医療の充実に努めていく。</p>
-------------	--

中期計画	年度計画
<p>ア 三つの重点医療の提供</p> <p>我が国の高齢者医療における大きな課題である①血管病医療、②高齢者がん医療、③認知症医療をセンターの重点医療として位置付け、適切な医療を提供する。 また、医療と研究の一体化のメリットを活かして高度・先端医療の研究及び臨床への応用を進め、新たな治療法の開発や後期高齢者に対する標準的治療法の確立を目指す。</p>	<p>ア 3つの重点医療の提供</p> <p>センターの重点医療である①血管病医療、②高齢者がん医療、③認知症医療において適切な医療を提供する。 また、医療と研究の一体化のメリットを活かして高度・先端医療の研究及び臨床への応用を進め、新たな治療法の開発や後期高齢者に対する標準的治療法の確立を目指す。</p>

当該評価項目における中期計画の達成状況及び達成に向けた今後の課題、改善を要する事項を記載すること。

中期計画の進捗状況	<p><血管病医療への取組></p> <p>【中期計画の達成状況】</p>	【今後の課題】
-----------	--	---------

中期計画	年度計画	自己評価	年度計画に係る実績	特記事項																														
<p>(ア) 血管病医療への取組</p> <p>死亡及び要介護状態につながる大きな要因の一つである血管病(心血管疾患及び脳血管疾患)について、適切な治療を実施するとともに、血管病予防の観点から、生活習慣病治療の充実を図る。</p> <p>また、治療の実施に当たっては、研究部門で実施する高齢者の血管障害の特徴についての解析や、高齢期における血管障害予防のための生活習慣病改善手法の開発と連携し、治療を進める。</p> <p>【具体的な取組内容】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">心血管疾患治療</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 急性心筋梗塞に対するインターベンション治療 不整脈に対する植込み型除細動器(ICD) 心臓再同期療法(CRT) 大動脈瘤に対するステント治療 慢性閉塞性動脈硬化症等末梢動脈疾患に対する血管再生治療【先進医療該当】など </td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患治療</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法 コイル塞栓術等の脳血管内手術 脳卒中に対する早期リハビリ実施など </td> </tr> <tr> <td>生活習慣病治療</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病、脂質異常症、高血圧、メタボリックシンドローム、肥満等の治療 遺伝子情報を活用したオーダーメイド骨粗鬆症治療など </td> </tr> </table>	心血管疾患治療	<ul style="list-style-type: none"> 急性心筋梗塞に対するインターベンション治療 不整脈に対する植込み型除細動器(ICD) 心臓再同期療法(CRT) 大動脈瘤に対するステント治療 慢性閉塞性動脈硬化症等末梢動脈疾患に対する血管再生治療【先進医療該当】など 	脳血管疾患治療	<ul style="list-style-type: none"> 脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法 コイル塞栓術等の脳血管内手術 脳卒中に対する早期リハビリ実施など 	生活習慣病治療	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病、脂質異常症、高血圧、メタボリックシンドローム、肥満等の治療 遺伝子情報を活用したオーダーメイド骨粗鬆症治療など 	<p>(ア) 血管病医療への取組</p> <p>血管病に対して、内科的治療、外科的手術から先端医療まで、複数の選択肢の中から個々の患者の症例に応じた適切な医療を提供するとともに、血管病予防の観点から、生活習慣病治療の充実を図る。</p> <p>また、治療の提供に当たっては、研究部門で実施する高齢者の血管障害の特徴についての解析や、高齢期における血管障害予防のための生活習慣病改善手法の開発と連携し、治療を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓外科の開設により可能となった冠動脈・大動脈バイパス術、弁置換術等、外科的手術を積極的に進める。 急性心筋梗塞に対するインターベンション治療を推進する。 外科的手術の実施により、不整脈に対する植込み型除細動器(ICD)、心臓再同期療法(CRT)、腹部大動脈瘤に対するステント治療の施設認定を目指す。 <p>【達成状況】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">平成19年度実績値</td> <td style="text-align: center;">21年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">血管再生治療実施件数</td> <td style="text-align: center;">2例/年</td> <td style="text-align: center;">6例/年</td> </tr> </table> <p>・脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、症候性の内頸動脈狭窄症に対するステント留置術等、より低侵襲な血管内治療を推進する。</p> <p>・「東京都脳卒中救急搬送体制」ヘーPA治療可能施設として参画することにより、急性期脳梗塞に対する血栓溶解療法に取り組む。</p> <p>・糖尿病・高脂血症患者を対象としたクリニカルパス入院(合併症・動脈硬化検査入院パス)により、メタボリックシンドロームや動脈硬化の危険因子の評価・対策を推進する。</p> <p>・遺伝子情報を活用したオーダーメイド骨粗鬆症治療を積極的に進める。</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">平成19年度実績値</td> <td style="text-align: center;">21年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">オーダーメイド骨粗鬆症治療実施件数</td> <td style="text-align: center;">51例/年</td> <td style="text-align: center;">40例/年</td> </tr> </table>		平成19年度実績値	21年度目標値	血管再生治療実施件数	2例/年	6例/年		平成19年度実績値	21年度目標値	オーダーメイド骨粗鬆症治療実施件数	51例/年	40例/年	1	<p>■ 年度計画に係る実績の記載方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目の業務実績で示す数値等は、過年度との比較等を含めて記載すること。なお、年度計画に掲げる業務の数値目標等は年度計画に係る実績欄に記載し、関連する数値等のデータは特記事項欄に記載すること。 数値で示すことが困難な業務実績については、具体的な取組内容や過程を記載するとともに、目標に対する達成度合(到達点)を明確に記載すること。 業務実績に関連する附属資料がある場合には、実績にあわせ、参考として附属資料名、ページを明記すること。 予算の項目についても、計画額と実績額に多額の差異が生じている場合には、その理由を明らかにすること。 <p>■ 達成状況を項目ごとにS・A・B・C・Dの5段階で評価すること。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>評語</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>計画を上回る実績・成果をあげている項目のうち次に掲げる条件に該当する項目 ・定量的目標が定められている項目について、目標の水準を大幅に上回る実績・成果をあげている ・実績・成果が卓越した水準にある ・都政・都民の新たなニーズに迅速に対応した取組により高い実績・満足度を実現している ・上記の各項目に準ずる実績・成果をあげている</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>計画を上回る実績・成果をあげている項目で、S判定には該当しない項目</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>計画をほぼ順調に実施している</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>計画を十分に実施できていない</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>業務の大幅な見直し、改善が必要である 実績・成果が計画を下回っている項目のうち次に掲げる条件に該当する項目 ・定量的目標が定められている項目で、実績・成果が目標の水準を大幅に下回っている ・提供すべきサービス、財務内容、その他業務運営に重大な取組がある ・実績・成果が上記の各項目に準ずる水準に止まっている</td> </tr> </tbody> </table> <p><備考>上記の説明は、あくまで目安であり、実績・成果の水準に加え、計画の難易度、外的要因、取組の経緯・過程を総合的に勘案して判定する。</p>	評語	説明	S	計画を上回る実績・成果をあげている項目のうち次に掲げる条件に該当する項目 ・定量的目標が定められている項目について、目標の水準を大幅に上回る実績・成果をあげている ・実績・成果が卓越した水準にある ・都政・都民の新たなニーズに迅速に対応した取組により高い実績・満足度を実現している ・上記の各項目に準ずる実績・成果をあげている	A	計画を上回る実績・成果をあげている項目で、S判定には該当しない項目	B	計画をほぼ順調に実施している	C	計画を十分に実施できていない	D	業務の大幅な見直し、改善が必要である 実績・成果が計画を下回っている項目のうち次に掲げる条件に該当する項目 ・定量的目標が定められている項目で、実績・成果が目標の水準を大幅に下回っている ・提供すべきサービス、財務内容、その他業務運営に重大な取組がある ・実績・成果が上記の各項目に準ずる水準に止まっている	<p>■ 特記事項については、以下の事項について、簡潔に記載すること。</p> <p>ア 前年度の評価結果を踏まえた改善に向けた取組、課題(平成21年度は該当なし)</p> <p>イ 特色ある取組みや特筆すべき優れた実績を上げた取組 ・法人化のメリットを活用した財務、組織、人事などの面での特色ある取組 ・他の病院、研究施設にはない特色ある取組 ・顕著な実績又は特に優れた成果が認められる取組(自己評価S)の状況</p> <p>ウ 遅滞が生じている取組やその理由 ・中期計画の達成に向け遅滞が生じている取組(自己評価C・D)の状況及び遅滞が生じている理由 ・計画に対し実績が特段の事情により乖離が生じているが、自己評価にA・Bをつける場合</p> <p>エ 実績に関し、数値による過年度との比較が可能なものについては、それが分かる数値 ・実績に関連又は補足するデータは必要に応じて記載すること。 ・参考として標記したデータはその出典した資料名及びページを明記すること。</p> <p>オ その他、法人が積極的に実施した取組等</p>
心血管疾患治療	<ul style="list-style-type: none"> 急性心筋梗塞に対するインターベンション治療 不整脈に対する植込み型除細動器(ICD) 心臓再同期療法(CRT) 大動脈瘤に対するステント治療 慢性閉塞性動脈硬化症等末梢動脈疾患に対する血管再生治療【先進医療該当】など 																																	
脳血管疾患治療	<ul style="list-style-type: none"> 脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法 コイル塞栓術等の脳血管内手術 脳卒中に対する早期リハビリ実施など 																																	
生活習慣病治療	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病、脂質異常症、高血圧、メタボリックシンドローム、肥満等の治療 遺伝子情報を活用したオーダーメイド骨粗鬆症治療など 																																	
	平成19年度実績値	21年度目標値																																
血管再生治療実施件数	2例/年	6例/年																																
	平成19年度実績値	21年度目標値																																
オーダーメイド骨粗鬆症治療実施件数	51例/年	40例/年																																
評語	説明																																	
S	計画を上回る実績・成果をあげている項目のうち次に掲げる条件に該当する項目 ・定量的目標が定められている項目について、目標の水準を大幅に上回る実績・成果をあげている ・実績・成果が卓越した水準にある ・都政・都民の新たなニーズに迅速に対応した取組により高い実績・満足度を実現している ・上記の各項目に準ずる実績・成果をあげている																																	
A	計画を上回る実績・成果をあげている項目で、S判定には該当しない項目																																	
B	計画をほぼ順調に実施している																																	
C	計画を十分に実施できていない																																	
D	業務の大幅な見直し、改善が必要である 実績・成果が計画を下回っている項目のうち次に掲げる条件に該当する項目 ・定量的目標が定められている項目で、実績・成果が目標の水準を大幅に下回っている ・提供すべきサービス、財務内容、その他業務運営に重大な取組がある ・実績・成果が上記の各項目に準ずる水準に止まっている																																	